

# 大阪大学医学部保健学科 合格

辻村栄治さん(2類自宅生)

## 授業の活用

一番伝えたいことは、授業を大いに活用することです。具体的には、授業中に習ったことは授業中に理解することです。これを聞くと、無理だと思った人もいるかもしれませんが、難しいと思った人は、授業の前に教科書をパラパラと読んでみることをオススメします。なにが書かれているのか事前に目を通しておいて授業中は先生の話をしっかり聞きましょう。分からないことがわかっていれば、焦らずに先生の解説を聞くことができます。それでも分からなかったときは、先生に質問に行ったり、頭のいい友達に解説してもらったりしてください。天理高校の先生はいい人ばかりなので、質問に行けば快く教えて下さるでしょう。

## 先生の援助

授業のほかには、先生に助けてもらうことです。たとえば志望大学が決まっている人であれば、その大学のレベルにあった問題集や入試の傾向などを教えてもらえるはずです。志望大学が決まっていない人でも、興味のある分野でおすすめの大学を紹介してもらえたりします。先生に話しかけるのは気後れする人もいるかもしれませんが、先にも述べたように、先生方はいい人ばかりなので、積極的に話をしてみることをおすすめします。

## 基礎が大切

授業をきちんと受けて先生にも頼る。僕がここまで言ったことはこのように一言でまとめられてしまいましたが、これを確実に実行できれば、あなたの勉強の地盤はしっかりと固まるはずです。レベルの高い大学を目指すときにも、或いはレベルの高い大学だからこそ、基礎を固めることが重要になります。高度な知識は、しっかりとした基礎があってこそ高く積み上げることができるのです。

## アドバイス

さて、ここまでは普通のことを言っただけのような気がするので（普通でも大事なことですよ！）、オリジナリティを加えるために気持ちの切り替え方を一つ、伝授しておきます。方法は簡単。深呼吸の吸うときに目を閉じて、吐くときに目を開く。吐き終わったら口角をちょっと上げる。表情をやわらかくするだけでも効果はあります。試験前で緊張した時など、もし覚えていればやってみてください。